

BLDG NEWS メンテナンス

VOL.234.

10月号

平成20年(2008)

愛知

発行・編集 社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報イメージアップ委員会/E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp URL(アドレス) http://www.aichi-bma.jp
〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-31 栄町ビル6階 TEL 052-972-1451 FAX 052-972-1452

• 今月の視点 •

いわゆる“環境問題”は昨今、大きな社会問題になっていることは皆様すでにご存知のことと思います。今年の北海道洞爺湖サミットでも議題に上がったことは記憶に新しいところであります。去る7月23日のビルクリーニング研修会でもこのテーマでご説明させて頂きましたがメンテナンス業界におかれましても大変、重要な問題であると考えます。

まず、環境問題を考える上において、下記のポイントが重要だと思われます。

①様々な環境問題の中で今、最も関心が高く、重要なものは地球温暖化問題である

②温暖化の原因であるCO₂排出削減はエネルギーの効率化と大きく関連している

環境問題の重要度に序列をつけることは必ずしも適当ではありませんが、世界が環境問題を語る時、CO₂排出削減が欠かせない命題であることは間違ひありません。日本においても国をはじめ、自治体、企業、個人での取組みが既に始まっています。京都議定書におけるCO₂削減目標(90年比マイナス6%)のスタートは今年2008年からです。

では、次にこの問題とメンテナンス業界との関係ですが、下記の点が重要だと考えます。

①メンテナンス業務におけるエネルギーとは何か、それはどこから供給されているのか

②メンテナンス業務におけるCO₂排出量はどの程度か、それは“見て”いるのか

業界におかれましても洗浄汚水処理をはじめ、様々な環境問題に取組まれてこられたと思います。私どもメーカー側もケミカル製品における有害化学物質の排除や法規制に対応(エコ製品の開発)するために努力してまいりました。そして、現在、業務を遂行するためには欠かせない水、使用する機械の電気などはメンテナンスにおける重要なエネルギーです。それは建物側から供給されています。このことはオーナー様がいかに建物におけるエネルギーを効率化できるかを真剣に考え始めている現在において、たいへん重要な視点だと考えます。私どもも省エネルギーという観点で商品開発を進めているところです。また、例えば、現場の清掃管理において、どれくらいの水、電気が消費されているか、これはどういう機材、どういう方法、どういう頻度で実施しているのかを元に概算で算出することは現在でも可能です。それに係数をかけば概算のCO₂排出量が把握できます。これが「CO₂の見える化」ということです。まず、ここからが大切ではないでしょうか。

現在、コスト、品質、人手不足など極めて厳しい市場環境だと認識しております。しかしながら、前述した流れは確実に動き始めていて、加速していくと思われます。まず、できるだけ、現状を「見える化」し、今ある環境配慮型の商品を見直してみる、それを“具体的に考える”ひとつのスタートとされてはいかかでしょうか。厳しい時代の中で新しい環境配慮型メンテナンスが本当に必要な時代はすぐ、そこまで迫っています。

ペンギンワックス(株)
名古屋支店 支店長

中川 茂



平成20年度経営セミナーを受講して

株式会社セイコー
取締役業務本部長 勝野 宣也

本年度の経営セミナーは、「卓越した業績を継続して上げる企業を作るために」をテーマとした講演会が開催され、私も受講させていただきました。講師は昨年度開催されました経営セミナーに引き続きまして(株)組織開発総合研究所代表 取締役社長 谷口洋氏です。

昨年度は経営品質についてのご教授を賜りましたが、今回はそれを更に掘り下げるものとなっておりました。サブタイトルとして「わが社の強みと弱みを把握する」とあり、人にも組織にも定期健康診断が必要であることを本セミナーで伝えたいとのことでした。

まずは、前回のセミナーの概略を語っていただきました。内容は以下の通りです。

● 経営品質が向上した際のメリット

(活気・コミュニケーション向上・ビジネスモデルの構築・プロセス不備の発見等)

● 経営品質の基本理念の4つの要素

(顧客本位・独自能力・社員重視・社会との調和)

次に、今回の本題に入りました。経営品質の評価項目は以下の8つがございます。

- ① 経営幹部のリーダーシップ
- ② 経営における社会的責任
- ③ 顧客の理解と対応
- ④ 戦略の策定と展開
- ⑤ 個人と組織の能力向上
- ⑥ 顧客価値創造プロセス
- ⑦ 情報マネジメント
- ⑧ 活動結果

以上の評価項目を踏まえた簡易経営診断シートに基づき、30分程の時間をかけて実践いたしました。

その過程において、自社のプロセスや仕組みがどのレベルまで確立しているか。継続性をもっているか。それらのシステムがどれだけ効果を発揮しているか。これらを定期的に検証することが非常に重要なことを痛感いたしました。

そして、この経営診断のサイクルを回す事だけでなく、必ず改革のサイクル(PDCA)と合わせた両輪を回すことが必要であり、そこから出た結果を測定することで、自社の強みや弱みが明るみとなり、次への改善のステップとすることが出来るとのことでした。

しかし、いかに良い仕組みが出来ていたとしても、会社の経営の質は経営者の質で決まります。組織の活力の源泉は経営幹部であり、トップが燃えなければ部下も会社も燃えない。トップが危機感を持たなければ部下や会社全体も危機感を持たなくなる。

お客様のニーズを見据え続け、経営診断というツールにて自社の弱みや強みを知り、今後の経営に生かすことが「卓越した業績を継続して上げる企業を作る」ことであるということを目の当たりに

したセミナーでした。

今回の診断は人の健康診断に例えると定期的な健康診断のレベルであるとのことです。次回開催予定の経営セミナーでは更に深い部分まで診断する方法をご教授下さるそうですので、期待に胸を膨らませております。



経営セミナー

平成20年9月2日(火)愛知県産業貿易館西館9階第3会議室において、30人が参加し経営セミナーが開催されました。

今回の講師は、昨年1月22日に開催されたセミナーと同様、(株)組織開発総合研究所代表取締役社長 谷口 洋氏に依頼し、「卓越した業績を継続して上げる企業を作るために」をテーマに約1時間30分講義を頂きました。

セミナーでは、講義を聞いた後に受講生全員が簡易経営診断シートを用いて経営診断を実際に行ないました。

診断は、・経営幹部のリーダーシップ・経営における社会的責任・顧客市場の理解と対応・戦略の策定と展開・個人と組織の能力向上・価値創造のプロセス・情報マネジメント・活動成果の8つのカテゴリーから構成されており、それぞれの会社の強みと弱みを把握することが出来るものでした。

人にも定期健康診断が必要なように、会社にも経営診断が必要なことを説明されました。

清掃作業従事者研修指導者講習会(新規)

平成20年度清掃作業従事者研修指導者講習会(新規)が平成20年9月18日愛知県産業貿易館西館第3会議室において開催されました。

建築物清掃業及び建築物環境衛生総合管理業の登録事業者は、建築物衛生法に定める「登録に必要な人的要件」を満たすための研修として、清掃作業従事者研修を実施することになっています。

当協会では、この研修が計画的に行なわれ、研修の水準が確保できるよう(社)全国ビルメンテナンス協会が実施をしている講習会に協力をして開催をしたものです。

受講資格につきまして、従前はビルクリーニング技能士、または建築物環境衛生管理技術者であって、事業所で従事者研修指

導者として選任された者としておりましたが、今回から研修の水準の確保をすべく登録機関の講師基準に統一されたためか受講者は29人と例年よりやや少ない状況でした。

今後、各職場においてしっかりしたOJTが行なわれることと思います。



ビルメン社会貢献セミナー

広報・イメージアップ委員会

去る9月10日大阪科学技術センターにおいて、(社)全国ビルメンテナンス協会近畿地区本部が主催し、第1回ビルメン社会貢献セミナーが開催されました。

イメージアップ事業に取り組んでいる委員会の調査活動の一環としてセミナーに参加して来ましたので一端を報告します。

～障がい者雇用とビルメン業界～と題したこのセミナーの開催趣旨は、環境保護や、法令順守、社会支援など企業の社会的責任が企業活動の不可欠な要素とされる昨今、労働集約型産業であるビルメンテナンス業については、高齢者や障害者などの積極的な雇用による社会的に弱い人たちの受け皿としての役割と、地域密着型産業としての多様な社会支援活動の重要性など、これから社会における企業のあり方が問われています。

昨年末に幕張メッセで開催された“障害者就労支援シンポジウム”的先駆的な取り組みを踏まえ、大阪府や京都府における事例を紹介頂きながら、より一步先へと進んだ地域に根づいた障がい者福祉のあり方を検証していくことを目的とし、このセミナーによって全国各地のビルメンテナンス業界、行政、福祉関係者団体、及び一般の方との情報交換や、交流の機会を設け、我が国の障がい者福祉への発展の一助になることとしておりました。

セミナーでは、「エル・チャレンジ9年の軌跡」と題し、大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合理事長 富田 一幸氏の基調講演の後、済生会病院における活動のビデオが上映されました。

シンポジウムでは、5人のパネラーが地域に根づいた取り組みの事例を紹介されました。

また、大阪ビルメンテナンス協会では、障害者雇用支援スタッフ養成に取り組まれております。

障害者雇用にあたっては、職業能力の評価、適職の選定、作

業環境の改善、特別な雇用管理など、配慮すべき点があるため、そのために必要な体系的な知識及び技術の習得を目的とするもので、先進的な取り組みを実践されており、学ぶべきことが多くございました。



理事会・各種委員会

第3回理事会

開催日時 平成20年9月17日(水)13時30分～

開催場所 協会事務局会議室

出席者 勝野会長始め12名の出席を得て勝野会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項

- 第31回B・Mソフトボール大会について
- 当面の諸問題について
- 委員会報告
- 全協報告
- 中部北陸地区本部報告

清掃作業従事者研修指導者新規講習講師打合せ会

開催日時 平成20年8月21日(木)11時～

開催場所 協会事務局会議室

9月18日に開催する研修会の進め方について協議した。

第4回広報・イメージアップ委員会

開催日時 平成20年9月19日(金)10時～

開催場所 協会事務局会議室

10月号の構成について検討を行なった。

愛知県建築物環境衛生管理研究集会第1回実行委員会

開催日時 平成20年9月8日(月)10時30分～

開催場所 愛知県三の丸庁舎804会議室

第23回研究集会の開催について

第1回監事会

開催日時 平成20年9月17日(水)11時～

開催場所 協会事務局会議室

平成20年度第1四半期の経理について加藤・野牧・権田監事の監査を実施した。

会員の動き

10月1日現在会員数 普通会員 133社 賛助会員 20社

<普通会員>

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
20.8	栄和建物管理(株) 名古屋支店	代表者	旧 取締役支店長 毛利 秀樹 新 取締役支店長 山本 俊久
20.10	赤門ウイング(株)	会社名	旧 赤門ウイング(株) 新 赤門ウイレックス(株)

我社の社会貢献事業

タイガー総業株式会社は、建築物環境衛生総合管理業として清掃業務、設備管理業務、警備業務、環境業務などを行い「安全で快適な環境の提供」に取り組む企業です。

お客様に対して「満足を越える商品の提供」をすると同時に、循環型社会、低炭素社会実現への一翼を担うべく社員が一丸となって取り組んでいる社会貢献事業を紹介致します。

- ① 本社ビル周辺歩道部の清掃(毎朝)奉仕による地域環境美化。
- ② エコカー(ハイブリッド車、低燃費・低排出ガス車)の導入。
- ③ エコドライブの徹底による大気汚染防止。
- ④ お客様の事業所より排出される古紙のリサイクル推進による循環型社会の構築。
- ⑤ お客様への省エネ改善提案による地球温暖化ガスの排出抑制。
- ⑥ ドライメンテナンスの推進による高濃度汚水の排出低減。
- ⑦ シルバー人材センターへの清掃作業指導による人材育成。

このような活動を通して、CSR(企業の社会的責任)を自覚すると共に、

タイガー総業株式会社 総務部 伊勢田 良明

社員一人ひとりが社会奉仕の心を自己の内に育んでいます。そして、社会から信頼される市民、企業となることを目指しています。人と地球が未来永劫に良きパートナーであるため、チーム・マイナス6%を推進し、快適な環境を創出するため常にチャレンジする企業であることを誇りとしています。



平成20年11月の予定

霜月

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	土		17	月	安全パトロール(21日まで)
2	日		18	火	
3	月	文化の日	19	水	ビル設備2級実技(トレーニングセンター)
4	火	建築物環境衛生管理技術者講習会(ビル管講習会)(産易西館)	20	木	〃
5	水	ビル管講習会(港湾会館)	21	金	〃
6	木	〃	22	土	
7	金	ビル管講習会試験(港湾会館) 貯水槽清掃作業従事者研修(愛知県産業貿易館特別会議室)	23	日	勤労感謝の日
8	土		24	月	振替休日
9	日		25	火	
10	月		26	水	
11	火	愛警協ビルメン支部救命講習	27	木	ビルクリーニング受験準備講習会(実技)(トレーニングセンター)
12	水	空調給排水(再)講習会(港湾会館) 総務厚生委員会	28	金	〃
13	木	安心安全で快適なまちづくりキャンペーンなごや2008(久屋大通公園) 排水管清掃作業監督者(再)講習会(港湾会館)	29	土	
14	金	清掃作業従事者研修(中級)(愛知県産業貿易館西館)	30	日	
15	土				
16	日				

賛助会コーナー

スイーパー CSC-1000B

広いカーペットフロアに
最適な高効率・静音タイプ。
バッテリー式だから
作業も快適。
ハードフロア
にも対応。



製品仕様

- サイズ: 幅640x奥行1200x高さ955mm
- 清掃幅: 640mm(サイドブラン含む)
- 作業能力: 1920m²/h
- 走行方式: 手押し歩行式
- 連続使用時間: 標準:約2時間30分 加圧:約2時間
- 充電時間: 約6時間(充電器内蔵)
- 重量: 約48kg(バッテリー含む)
- 細かなチリやホコリもかき出して吸引。
メインブラシは床の凹凸に合わせて高さを自動調節します。
- 長時間の使用に対応する便利機能。
本体内部のホコリを吸い取る「吸引」や振動でフィルターを掃除する「チリ落とし」などのセルフメンテナンス機能付き。
- 電源のON/OFFで上下するサイドブラン。
スイッチを切るとサイドブランが自動上昇。
床面と接触せず移動がラクです。

特 徴

お問い合わせ

山崎産業株式会社 第二名古屋営業所
住所:〒453-0817 名古屋市中村区白子町4丁目20番
TEL:052-481-8551 FAX:052-486-2331

事務局だより

“セアカゴケゴモ”覚えていますか。

愛知県健康対策課のホームページによりますと、平成17年8月19日中部国際空港の滑走路付近で愛知県で初めて発見されました。

最近では、平成20年5月国営木曽三川公園内で確認されました。

「習性はおとなしく、素手でつかんだり、捕まえたいために咬まることはあります。毒ガモなので充分注意が必要です。

生息場所は、日当たりがよく暖かい場所、昆虫のえさが豊富なところ、適当な隙間があるところを好み側溝の内部、フェンスの基部、花壇のプロックの内部などです。

咬まれると、チクリと針で刺したような痛みを感じます。やがて咬まれた部分の回りが腫れて赤くなり全身に広がります。時に頭痛などの症状が現れることがあるので、すぐに病院で診察を受けることが必要です。」

と広報されています。皆さん充分注意しましょう。